

東日本大震災から2年4ヵ月、原発事故は終わっていない

原発避難者講演会

2011年3月11日、14時46分の東日本大震災発生から2年以上が経ちました。しかし、福島第一原発では停電事故や汚染水漏れなどが相次ぎ、およそ「収束」したとはいえませんが、状況が続いています。原発事故で避難をしている方々は、今も15万人以上（福島県の避難者数）にのぼります。汚染は福島の県境を越えて広がったため、福島県以外の地域から避難している方々もいます。

他方、福島の事故の記憶が「風化」しつつあるという危惧も聞かれます。そこで私たちは、震災発生後2年4ヵ月となる7月11日、原発事故で大阪に避難してこられた2人の方々を本学にお招きし、講演会を開催することにしました。私たちの身近にいる当事者の声を受け止め、原発事故の被害が継続中だという事実を、ぜひ感じとっていただきたいと思います。



(写真は東京電力ウェブサイトより)

日時 2013年7月11日(木) 14:40~16:10

会場 法学部棟 740 教室

講師 江口 紀子 氏 (避難者団体「関西 Future コミュニティ」代表)
森松明希子 氏 (同副代表)

主催 大阪市立大学商学部 除本理史ゼミ

事前申し込み不要 (先着順)、参加費無料

問合せ先 大阪市立大学 広報室 06-6605-3410